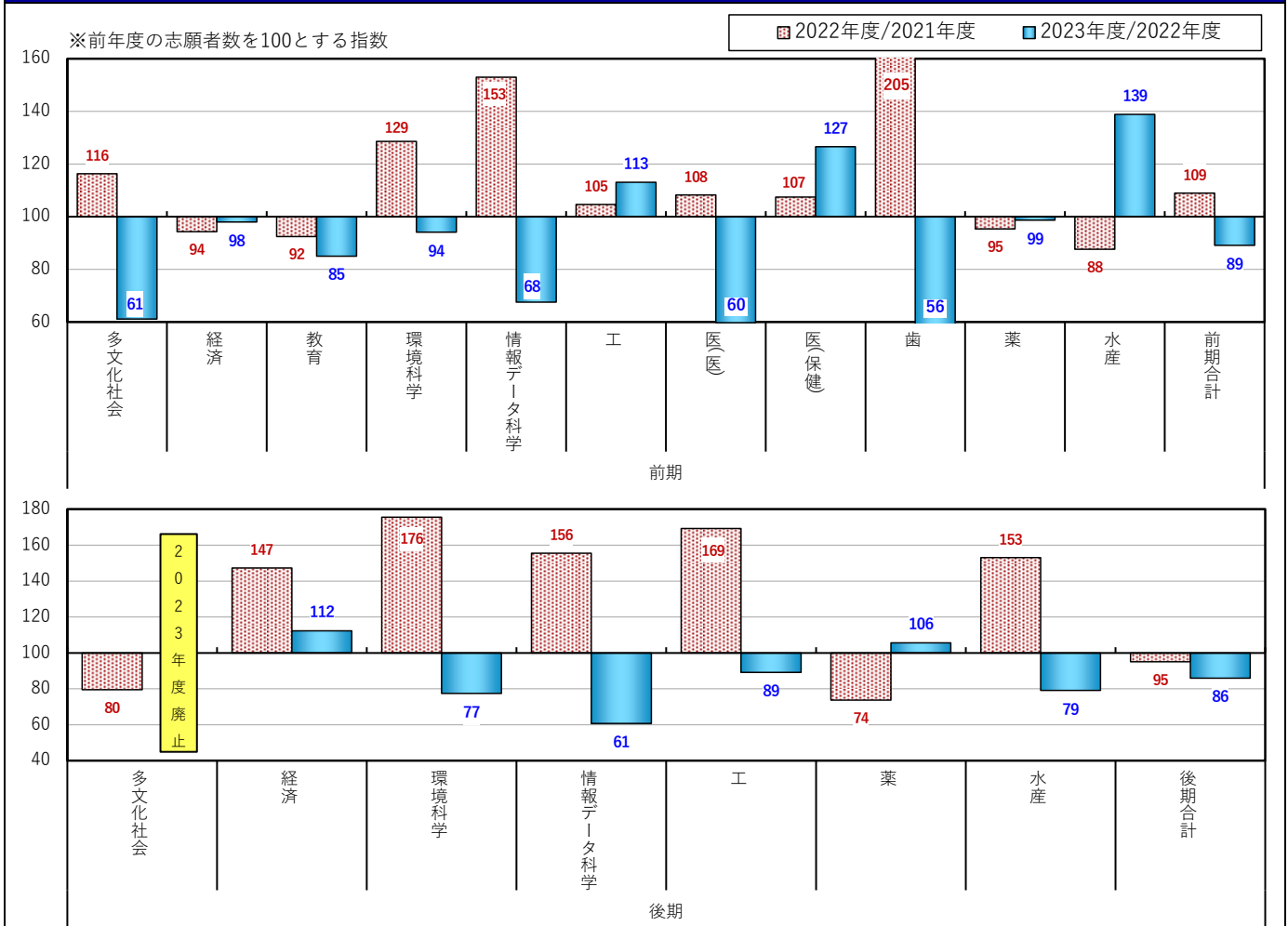


長崎大：前期は減少、後期は募集停止学部もあり2年連続減少

前期：-312人 後期：-221人



主な入試変更点

選抜方法：多文化社会…後期募集停止
 経済(総合経済)<前>…配点B方式廃止
 環境科学<後>…総得点が著しく低い者は不合格とすることがある
 →総得点の得点率が原則として40%未満の者は不合格とする
 水産(水産)<前>…2段階選抜廃止
 …共通テストの得点は第1段階選抜でのみ利用し、個別試験の得点で合否を決定する
 →共通テストと個別試験の総得点で合否を決定する
募集人員：教育(学校教育教員養成/中学校教育-理系)…<前>16人→14人
 情報データ科学(情報データ科学)…<前>70人→75人
 医(医)…<前>76人→71人
 (保健/理学療法)…<前>15人→24人
 水産(水産)…<前>45人→60人、<後>45人→30人
共通テスト：薬(薬)<後>…数2<200>+理2<200>+外<200>=総点<600>
 →数2<100>+理2<100>+外<100>=総点<300>
個別試験：水産(水産)<前>…数<125>+理<125>+ペーパーインタビュー<20>+調<10>=総点<280>
 →数<400>+理<400>+ペーパーインタビュー<80>+調<20>=総点<900>

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は前年度増加の反動で、312人(89)の減少。後期は221人(86)の減少で2年連続減少。後期募集停止の多文化社会を除くと124人(92)の減少で5年連続減少。なお、多文化社会<前>、薬(薬)<後>で2段階選抜が実施された。

<前期日程>

- 多文化社会(61)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。募集単位別では、(多文化社会/オランダ特別以外)(61)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。一方で、(多文化社会/オランダ特別)(67)は2年連続大幅減少。5年ぶりに志願者数が募集人員を下回った。
- 経済(98)は、微減だが3年連続減少。
- 教育(85)は、大幅減少で2年連続減少。コース・系別では、6募集単位中4募集単位が減少。特に、(学校教育教員養成/中学校教育-文系)(67)は大幅減少、(学校教育教員養成/小学校教育)(78)は大幅減少で2年連続減少。一方で、(学校教育教員養成/幼児教育)(131)は2年連続大幅増加、(学校教育教員養成/中学校教育-実技系)(107)は2年連続大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。
- 環境科学(94)は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。選抜方法別では、<選抜方法A(文系)>(125)は大幅増加で3年連

続増加。一方で、<選抜方法 B(理系)>(71)は大幅減少で、2018 年度以降前年度の反動による大幅な増減が継続。

- 情報データ科学(68)**は、前年度大幅増加の反動から大幅減少で、募集人員が 7%増加したこともあり、志願倍率は 2.6 倍→1.6 倍にダウン。2020 年度の新設以降、前年度の反動による大幅な増減が継続。
- 工(113)**は、3 年連続増加。2022 年度から共通テスト重視配点の<a 方式>と個別試験重視配点の<b 方式>に分けての募集だが、<a 方式>(107)はやや増加で志願倍率は 1.4 倍→1.5 倍にアップ、<b 方式>(118)は大幅増加で志願倍率も 5.4 倍→6.3 倍にアップ。
- 医(医)(60)**は、募集人員の 7%減少と 2 年連続増加の反動で大幅減少。志願者数は 3 年ぶりに 300 人を下回った。
- 医(保健)(127)**は、大幅増加で 2 年連続増加。専攻別では、3 専攻全てが増加。(保健/理学療法学)(152)は大幅増加だが、募集人員が 60%増加したため、志願倍率は 2.9 倍→2.8 倍にダウン。(保健/作業療法学)(145)は 2 年連続大幅増加、(保健/看護学)(110)は増加。
- 歯(56)**は、前年度倍増以上の反動で大幅減少。志願倍率も 6.8 倍→3.8 倍にダウン。
- 薬(99)**は、微減だが 2 年連続減少。学科別では、4 年制の(薬科学)(122)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、6 年制の(薬)(90)は 2 年連続増加の反動で減少。
- 水産(139)**は、4 年連続減少の反動で大幅増加。募集人員が 33%増加したので、志願倍率は 2.7 倍→2.8 倍とほぼ変化はなかった。

<後期日程>

- 経済(112)**は、前年度大幅増加に引き続き増加。志願倍率は 7.6 倍→8.5 倍にアップ。
- 環境科学(77)**は、前年度激増の反動で大幅減少。志願倍率も 7.6 倍→5.9 倍にダウン。選抜方法別でも、<選抜方法 B(理系)>(73)、<選抜方法 A(文系)>(82)といずれも大幅減少。
- 情報データ科学(61)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も 9.3 倍→5.7 倍にダウン。2020 年度の新設以降、前年度の反動による大幅な増減が継続。
- 工(89)**は、前年度激増の反動で減少。志願倍率は 8.0 倍→7.1 倍にダウン。
- 薬(106)**は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。学科別では、6 年制の(薬)(116)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、4 年制の(薬科学)(90)は 2 年連続減少。
- 水産(79)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。しかし、募集人員が 33%減少なので、志願倍率は 4.4 倍→5.2 倍にアップ。